

小学校外国語活動を生かした指導

(その2)

～ “Hi, friends!” での使用表現・語句を知る ～

小学校外国語活動でどのような表現・語句に慣れ親しんでいるのか？

「Lesson 7 では can について学習するが、小学校で can を用いた活動をしているのかな？」小学校に外国語活動が導入されてから、このようなことを考える機会が多くなったと思います。

中学校において、小学校外国語活動でどのような表現・語句を用いて子どもたちが活動しているのかを把握しておくことは、小学校で培われたコミュニケーションの素地を円滑に接続するためだけでなく、中学校における英語学習、特に言語活動を充実させるために大切なことです。

”Hi, friends!” で使用されている表現・語句等を確認しましょう！



○ “Hi, friends!” で使用される表現・語句一覧（PDF）

なお、次の点についても留意してください。

留 意 点

- 1 “Hi, friends!” を使用していない小学校もあります。また、使用していても、全ての単元、表現・語句を扱っているわけではありません。中学校では、地区の小学校との情報交換は必要です。
- 2 小学校外国語活動では、英語の表現・語句を覚えることを目標とはしていません。ですから、生徒がこれらの表現・語句を覚えているわけではありません。
禁句 「これ小学校でやったはず！」 → 生徒の意欲を著しく削ぎます。
- 3 小学校外国語活動では、「音声」中心で授業がすすめられています。これらの表現・語句を読んだり、書いたりする活動はしていません。英語を読んだり、書いたりする活動は中学校において初めて行われるものです。

※ “Hi, friends! 1”は5年生で、2は、6年生で使用している小学校が多い。